



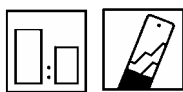


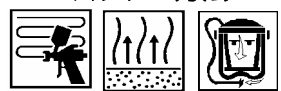
AUTOBASE PLUS オートベース プラス

オートベース プラスは1液型ベースコートで隠蔽性、メタリックコントロール性、塗装性に優れ、OEMの2コート及び3コートシステムに使用します。

| | | | | | |
|------------------------|--|------------|---------|----------------|---------|
| <p>使用できる被塗物</p> | <p>旧塗膜 (ラッカー系塗膜は除く) シッケンズプライマーサフェーサー類 (ウォッシュプライマーCRを除く)</p> | | | | |
| <p>主剤と副剤</p> | <p>オートベース プラス</p> <p>プラス リデューサー エキストラファースト: スポット及びパネル補修 適応温度: 15 以下</p> <p>ニュー プラス リデューサー ファースト: スポット及びパネル補修 適応温度: 15 ~ 20 以下</p> <p>ニュー プラス リデューサー ミディアム: スポット、パネル及び広面積補修 適応温度: 20 ~ 30</p> <p>ニュー プラス リデューサー スロー: 広面積補修及び全塗装 適応温度: 25 ~ 35</p> <p>ニュー プラス リデューサー スロー + ニュー プラス エキストラスロー30% : 高温時での塗装 適応温度: 35 以上</p> <p>備考: プラスティックカーパーツ塗装ではオートベース プラスにオートクリル イラスト・オ・アクティブは不要です。 非常に柔軟なプラスチックパーツにはオートベース プラスにハードナーP25を 10%混合してください。</p> | | | | |
| <p>貯蔵安定期間</p> | <table border="0"> <tr> <td>オートベース プラス</td> <td>20 /4年間</td> </tr> <tr> <td>ニュー プラス リデューサー</td> <td>20 /4年間</td> </tr> </table> | オートベース プラス | 20 /4年間 | ニュー プラス リデューサー | 20 /4年間 |
| オートベース プラス | 20 /4年間 | | | | |
| ニュー プラス リデューサー | 20 /4年間 | | | | |
| <p>VOC含有量</p> | <p>744g/L (理論上での希釈済み塗料)</p> | | | | |
| <p>塗布可能面積</p> | <p>塗着効率70%と仮定すると、希釈済み塗料 1リッターで10m²。希釈前塗料の主剤 1リッターで18m²/10 μm。(理論値)</p> <p>備考: 実際の使用量については、被塗物の形状や塗装方法又は、塗装環境により異なります。</p> | | | | |
| <p>膜厚</p> | <p>オートベース メタリック・パール色: 1コート/8 ~ 12 μm オートベース ソリッド色: 1コート/10 ~ 15 μm</p> | | | | |










| | |
|--------------|--|
| 器具の洗浄 | 使用後はシンナーX又は、ニュープラスリデューサーで速やかに洗浄してください。 |
|--------------|--|

オートベース プラス 使用方法

| 被塗物の前処理  | 脱脂作業後に各種の被塗物に適した前処理を行ってください。 旧塗膜 : ドライサンディングP500又はウェットP1000 サフェーサー類 : ドライサンディングP500又はウェットP1000 | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--------------------|------------|--------------|----------------|-----------|----------------|------|-----------|----------------|----------|-----------|--------------------|
| ボカシ部分の前処理  | オートベース プラスをボカシ塗装をする場合は、ボカシ部分及びクリアーコートする部分はブレンド・プレップを使用してスコッチブライト7448グレーでスカuffingしてください。 | | | | | | | | | | | | |
| 混合比及び可使用時間  | <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">100部(容量比)</td> <td style="width: 50%;">オートベース プラス</td> </tr> <tr> <td>50部～80部(容量比)</td> <td>ニュー プラス リデューサー</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">メジャースティックNo.1を使用</p> <p>手調色 オートベース プラスを手調色する場合は必ず下記の配合にてQ065バインダーを混合してください。(スティックNo.9使用) 3部(容量比) オートベース プラス原色 1部(容量比) オートベース プラスQ065</p> <p>可使用時間: 20 /6ヶ月(ハードナー混合時は、20 /4時間)</p> | 100部(容量比) | オートベース プラス | 50部～80部(容量比) | ニュー プラス リデューサー | | | | | | | | |
| 100部(容量比) | オートベース プラス | | | | | | | | | | | | |
| 50部～80部(容量比) | ニュー プラス リデューサー | | | | | | | | | | | | |
| スプレー粘度  | 20 /16～18秒 DIN cup 4 | | | | | | | | | | | | |
| スプレーガン及びスプレー圧力  | <table style="width: 100%; border: none;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">スプレーガン</th> <th style="text-align: left;">ガン口径</th> <th style="text-align: left;">スプレー圧力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上カップ</td> <td>1.3-1.5mm</td> <td>2 - 4 bar(手元圧)</td> </tr> <tr> <td>下カップ</td> <td>1.4-1.6mm</td> <td>2 - 4 bar(手元圧)</td> </tr> <tr> <td>HVLP上カップ</td> <td>1.3-1.5mm</td> <td>最大0.7bar(エアークャップ圧)</td> </tr> </tbody> </table> | スプレーガン | ガン口径 | スプレー圧力 | 上カップ | 1.3-1.5mm | 2 - 4 bar(手元圧) | 下カップ | 1.4-1.6mm | 2 - 4 bar(手元圧) | HVLP上カップ | 1.3-1.5mm | 最大0.7bar(エアークャップ圧) |
| スプレーガン | ガン口径 | スプレー圧力 | | | | | | | | | | | |
| 上カップ | 1.3-1.5mm | 2 - 4 bar(手元圧) | | | | | | | | | | | |
| 下カップ | 1.4-1.6mm | 2 - 4 bar(手元圧) | | | | | | | | | | | |
| HVLP上カップ | 1.3-1.5mm | 最大0.7bar(エアークャップ圧) | | | | | | | | | | | |
| ソリッド色 スプレー方法  | 2回シングルウエットコート(100%艶) 各コート間のフラッシュオフタイムは20 /3～5分です。 | | | | | | | | | | | | |



オートベース プラス 使用方法

| | |
|--|---|
| <p>メタリック色 2コートパール色 スプレー方法</p>    | <p>1回シングルウェットコート(100%艶) フラッシュオフタイムは3~5分です。 1回シングルコート(80%艶)</p> <p>備考:必要であればフラッシュオフタイムの後に1回ムラ取り (20%艶)を行なってください。</p> |
| <p>メタリック色 2コートパール色 スポットリペア</p>    | <p>スポットリペアをする場合はスプレー圧力を低く設定し色が隠蔽するまで薄く、徐々に大きく広げながら塗装してください。 各コート間、塗膜表面の艶が引けるまでフラッシュオフタイム(20 /3~5分)とります。最後も同じスプレー圧力で、できるだけ大きくボカシ塗装をしてください。</p> <p>備考:難易度の高い塗色についてはニュー プラス リデューサーを 50部~最大80部混合し、上記の方法でスポット補修を行ってください。</p> |
| <p>3コートパール スプレー方法</p>    | <p>カラーベースがソリッド色の場合</p> <p>ソリッド色のスプレー要領で色が隠蔽するまでスプレーします。各コート間のフラッシュオフタイムは20 /3~5分です。ボカシ際は希釈済み塗料に対し100%のリデューサーを添加してボカシ塗装し、必要であれば更に100%のリデューサーを添加しボカシ塗装します。塗布後は20 /15分のフラッシュオフタイムをとります。</p> <p>カラーベースがメタリック色の場合</p> <p>メタリック色のスプレー要領で色が隠蔽するまでスプレーします。各コート間のフラッシュオフタイムは20 /3~5分です。ボカシ際は希釈済み塗料に対し100%のリデューサーを添加してボカシ塗装し、必要であれば更に100%のリデューサーを添加しボカシ塗装します。塗布後は20 /15分のフラッシュオフタイムをとります。</p> <p>パールコート</p> <p>2~4回(スプレーアウトパネルにて実車確認)シングルコートします。各コート間のフラッシュオフタイムは20 /3~5分です。ボカシ際はエア圧力を下げる必要はありません。</p> <p>備考:パールの塗り重ね個所は各コート変えてください。</p> |

オートベース プラス 使用方法

乾燥時間



オートベースプラスのマスキング

オートベースプラスのソリッド、メタリック及びパール色は20 /20分後にファインラインテープにてマスキングをし次の色を塗布することが可能です。

備考:ベースの乾燥については、被塗物の形状や塗装方法又は、塗装環境により異なります。

塗り重ね

オートベースプラスは20 /15分以降に下記のクリアーにて塗り重ねをすることができます。

オートクリアー
 オートクリアー プラス
 オートクリアー プラスHS
 オートクリアー ファースト
 オートクリアー マット

オートベースプラスは下記の時間内に必ずクリアーコートをしてください。

| | 最短塗り重ね時間 | 最長塗り重ね時間 |
|-------|----------|----------|
| ソリッド | 20 /15分 | 20 /5時間 |
| メタリック | 20 /15分 | 20 /48時間 |
| 2Cパール | 20 /15分 | 20 /48時間 |
| 3Cパール | 20 /15分 | 20 /5時間 |

備考:もし複雑なデザインペイント等で上記の時間内にクリアーコートを塗布できないと予想される場合は、オートベースプラスに10%のPハードナー混合(シンナー希釈前)することにより、塗り重ね時間を7日間まで延長することができます。